

権力監視でスクープ連打

文部科学省の利害関係者であ

る学校法人「豊栄学園」（宮崎県三股町）が、前文部科学副大臣と文科事務次官をくり返し接

待した疑いがあるーしんぶん赤旗3月22日付1面スクープを受け、萩生田光一文科相は事実関係の確認を指示しました。各メディアは「共産党機関紙『しんぶん赤旗』」と情報源を明記し、後追いで報じました。

落語家の立川談四楼さんは、「今は『しんぶん赤旗』か『文春砲』かだよね。その赤旗がまたもスクープだ」とツイート。作家の平野啓一郎さんは、志位和夫委員長が22日付1面を紹介したツイートを引用し「ど二もかしこも、腐りきってるな。政権交代以外ない」とつぶやきました。

文芸評論家の斎藤美奈子さんは3月24日付「東京」「ラム」で、「赤旗」のスクープ連打を他紙はどう見ているかを分析。「『赤旗』がヒットを飛ばし続けるのは政権与党を監視するという目的が明快だから」と指摘し、しんぶん赤旗22日付のスクープに言及しました。

東京工業大学の中島岳志教授は23日付「東京」夕刊の論壇時

「赤旗」スクープについて
論じた他紙の記事

しんぶん赤旗 3月26日付

メディアも言論人も「しんぶん赤旗」に注目！

評で「近年、『週刊文春』と『赤旗』」が、重要なスクープを出している」と書き出し、週刊文春の新谷学編集局長と「赤旗」日曜版の山本豊彦編集長が対談した『月刊日本』2月号を紹介しました。

『週刊朝日』3月12日号は「菅政権を倒す力ギは共産党」と題した特集で、山本編集長のインタビューも織り交ぜ、「赤旗」や党議員の調査能力の高さを評価。「『赤旗砲』と呼べるような」うしたスクープ報道は、これまで多くの成果を見る会」報道を例にあげました。

論壇・時評
中島 岳志
文春と赤旗
「無敗の男」が社説で
菅政権を倒す力ギは
共産党

ヤギ牧場 ベビーラッシュ 南国市 2~4月350匹

高知県南国市大塙乙の川添ヤギ牧場がベビーラッシュの時季を迎えている。県内唯一のヤギ専門牧場で、個人経営では全国トップクラスの飼育数。「メエ～」と愛らしい鳴き声が、昼夜を問わず響いている。

12年前、2匹から飼育を始め、同市内などで約650匹を飼育。将来的には2千匹前後に増やす計画だ。

毎年、秋に種付け、150日前後の妊娠期間を経て、早ければ2月からが出産期。数匹から多い日で20匹前後が生まれるそう。飼育舎では、プランターを活用したオリジナルの授乳器から、赤ちゃんヤギが一斉に「ごくごく」「ちゅーちゅー」。愛らしい顔を並べ、ミルクタイムを楽しんでいた。

牧場では、三つ子や四つ子も珍しくないそうで、今季は350匹ほどが生まれる予定で、にぎやかな春が4月下旬まで続くという。（高知新聞 3月25日付）

予防接種の記録を 感染研が 「手帳」作成（新型コロナ・ミニ知識）

いつどんなワクチンの接種を受けたか、記憶ではなく記録を。国立感染症研究所が「成人用予防接種記録手帳」を作成し、ホームページに印刷用データを掲載した。新型コロナウイルスワクチンを打った際に受け取る接種済み証を貼り付ける欄もある。A5版での印刷を想定しており、表紙を含め計8ページ。ワクチン名やメーカー、接種年月日、医療機関名などを自分で記入し、別のページに接種済み証などを貼り付ける。

予防接種歴は、海外旅行や就職などの機会に確認を求められることがある。幼少期のワクチンは主に母子健康手帳の記録を参考し、以降は接種時に渡された紙を個人が保管する例が多いとみられるが徹底されておらず、必要な場面で慌てる人も少なくないようだ。手帳を作成した多屋馨子（たや・けいこ）・感染症疫学センター室長は「接種記録を各自が管理する習慣を付けてほしい」と話している。（共同通信社 3月23日付）

